

MAS-801HR, MAS-8000の交換手順書

製造会社	AlcanTech
機器名	アッシング装置
機種名	MAS-801HR, MAS-8000
製造番号	—

10.4型互換モニタX7104A-R2対応版

1. 対象機種

対象装置、対象モニタは下記の通りです。

1.1 対象装置

AlcanTechアッシング装置
MAS-801HR, MAS-8000 ※トランクケース仕様も含む。

1.2 対象モニタ

富士通(株)プラズマ・モニタFTE8050BP
富士通(株)プラズマ・インターフェース基板FPF04A-NB(N320-5209-T052/03)
Carroll Touch社インターフェース基板Part NO. 01-5002-1230 REV.A の組み合わせが対象になります。

2. モニタの交換方法

下記の手順にて既存モニタを互換モニタに交換してください。

(1) 既存モニタの取り外し

図1. に示すモニタ・ユニットから既存のコネクタ①から③を引き、④プラズマモニタ本体を取り外します。
①プラズマ用電源コネクタの先にあるプラズマ用電源は不要となりますので、合わせて取り外してください。

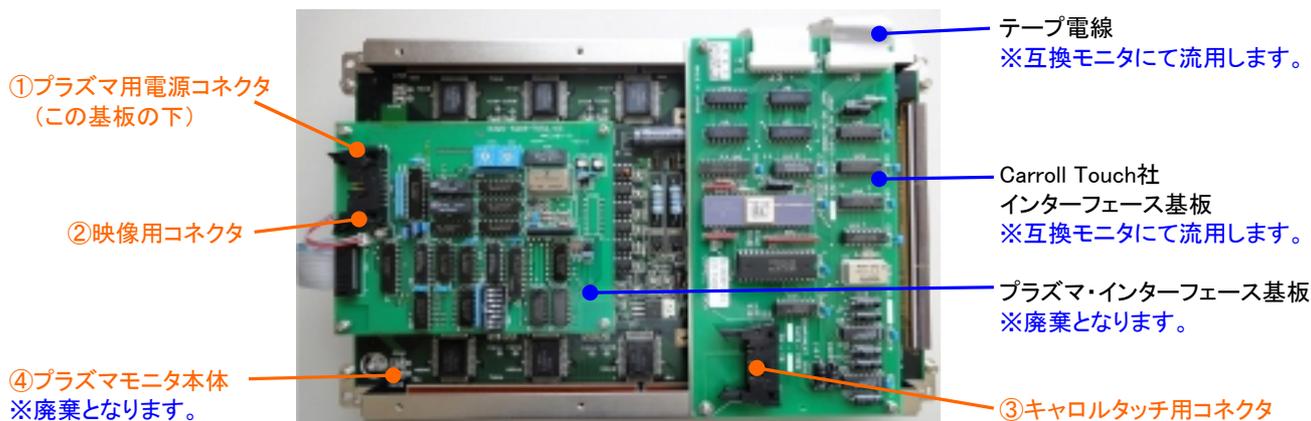


図1. 既存モニタの構成

(2) 互換モニタの接続(制御系, DC電源系)

既存モニタから取り外した②映像用コネクタ, ③キャロルタッチ用コネクタを図2. に示す箇所に接続します。
次に、⑦DCジャックを⑤10.4型互換モニタ本体に接続します。

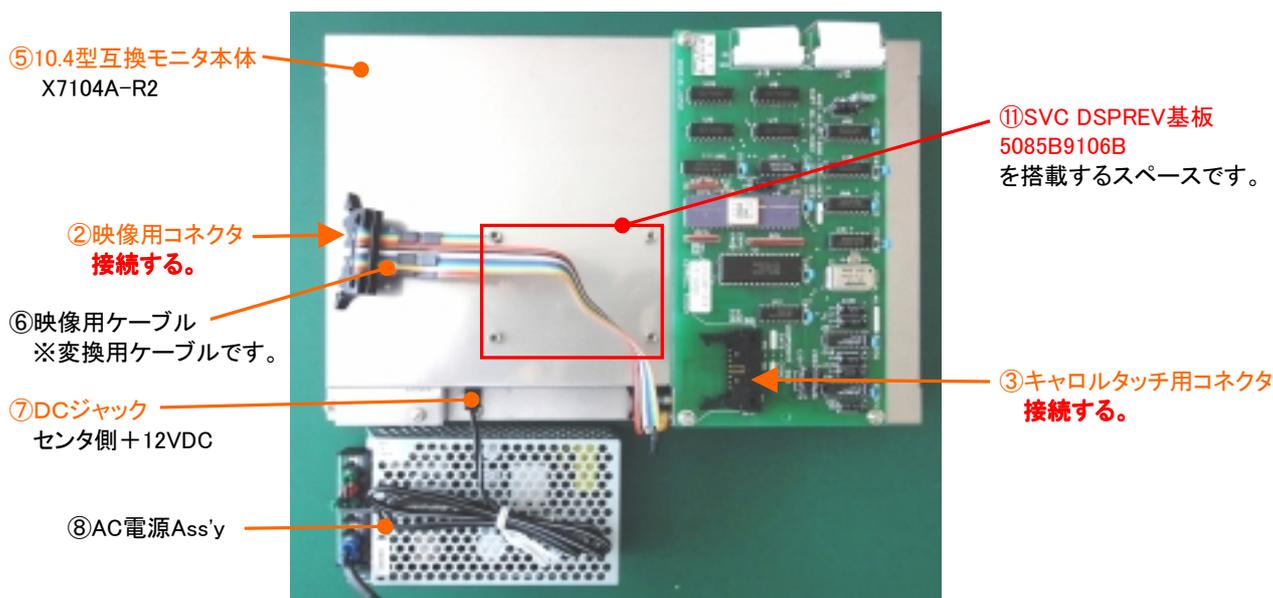


図2. 互換モニタの構成

2010年 09月28日	～	所要時間	実働時間	担当者	お客様御承認印
:	～				
株式会社エイブル					2011.
書式番号: Z091028-1151		TEL: 0985-29-0867 FAX: 0985-29-0916		HP: http://able-rd.com	
		E-mail: able@theia.ocn.ne.jp		1/3	

(3) 互換モニタの接続(AC電源系)

既存モニタの電源系は、装置によって異なる場合がありますので、
 ⑧AC電源Ass'yの標準仕様は⑨ACコードを接続して出荷しています。

⑨ACコードが使えない場合は、
 まず、⑨ACコードを使い、互換モニタによる表示、操作状態の確認を行い、問題無いことを確認してから
 添付の⑩圧着端子を取付ける作業を行ってください。

既存のプラズマ用電源のAC入力コネクタを利用される場合は、
 図5. に示すAC入力コネクタの根本でケーブルを切断、
 添付の⑩圧着端子を取付け、⑧AC電源Ass'yのAC入力端子に接続してください。

⑧AC電源Ass'yの固定方法は、⑧AC電源Ass'y背面に両面テープを貼り付け、任意の場所に固定してください。



図3. AC電源系の構成



DC出力端子		機能
V1	+5VDC	⑪SVC DSPREV基板用
G1	V1のGND	
V2	+12VDC	⑤10.4型互換モニタ本体用
G2	V2のGND	
V3	未使用	何も接続しないでください。

図4. AC電源Ass'yの端子説明

図5. に示すトランクケースに組込まれた既存モニタを交換する場合は、
 ⑪SVC DSPREV基板用の電源系を新たに製作する必要があります。
 その方法は、
 ⑫SVC DSPREV基板の電源ケーブルに添付の⑩圧着端子を取付け、
 図4. に示す⑧AC電源Ass'yのDC出力端子(V1端子とG1端子)に接続してください。

⑪SVC DSPREV基板は、図2. に示す取付け位置に固定してください。

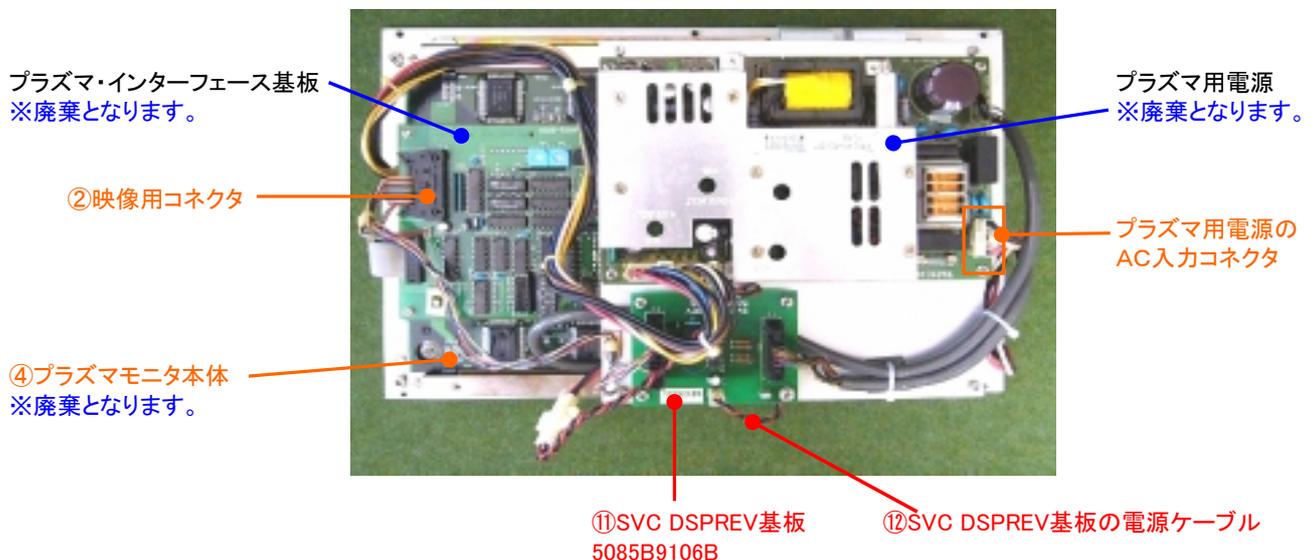


図5. トランクケース仕様の既存モニタ

(4) 互換モニタの固定

互換モニタの取付けピッチは、既存モニタと同一寸法ですが、図6. に示す⑬六角スペーサは長さが異なります。

よって、既存モニタに取付けられている円柱スペーサ4本を取外し、互換モニタに添付されている六角支柱(六角スペーサ)に交換してください。

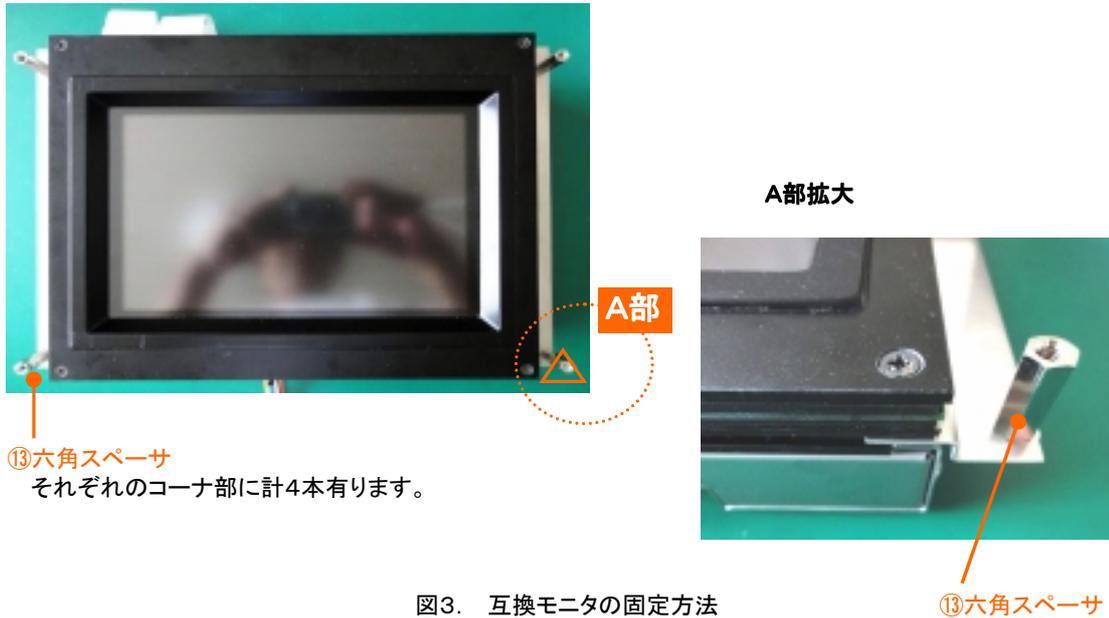


図3. 互換モニタの固定方法

以上、互換モニタの交換作業は終了です。